



かえでゆうびん 5月号

2023年5月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

五月晴れ・・・とはいかず折角の連休もお天気とにらみ合いっこではじまりました。先日の保護者会ではほとんどの方がご参加いただき、ありがとうございました。3年ぶりの対面での開催で人が集まる感覚を久しぶりに味わいやはり、人と人の顔を見て交流することの大切さを痛感しました。今回の保護者会を企画をする中では「各クラスで交流する」「親子ふれあいあそび」も・・・と案はたくさん出ました。その中で今年度の子もたちの過ごし方やひとり一人輝いている園での様子をまとめ、大切な育ちを伝えさせていただきます。その後の交流会ではできるだけ時間をかけずに移動するという方式にしました。まだまだ感染症対策も不可欠な状況ですので体を動かして楽しい時間を過ごせるよう「かばうま」さんのコンサートはいかがでしたでしょうか？

～今年のテーマ～

「みてみてきいて・つながるえがお」

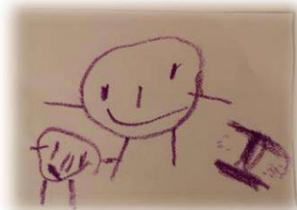
子どもたちだけでなくこのかえで保育園に縁のある方々が様々な場面で認め合い、支えあい、皆が笑顔あふれる毎日が過ごせるよう職員一同で力を合わせて進めていきます。どうぞ、私たち職員が子育てのサポーターになれるようお声をかけて下さい。

この3年間の隙間をどのように埋めていくかはその時々で立ち止まって考えていきたいと思ひます。

私たちが大変心配していることは0歳児からの育ちです。人を意識して経験から人の表情を読み取る力が育つ時期に表情のない生活が続いたことで心情が読み取りにくくなってしまったのではないかと思います。

表情筋は人が必ず持っている喜怒哀楽、そして食べたり飲みこんだりしゃべったりするときを使う筋肉です。それをマスクで隠してしまった3年間。相手の気持ちを理解しようとする力等は目だけではなく、顔全体の表情を見て育っていきます。5月より保育の在り方も見直し、感染症対策をしながら、本来人として一番大切にしたい、表情でのコミュニケーションも育てていきたいと思ひます。

これからの生活はみてみて・・・きいてきいてがたくさんあふれ、なにになに？と応答することをたくさん経験して心豊かに過ごしてほしいです。



おしらせ



ルクミーの連絡帳の使い方

- ・幼児クラスは7：30までに送信してください
- ・乳児クラスは登園前までに送信してください

また、各担任間で必ず保育前に閲覧をし、受け入れをします。

送信されていない場合は子どもたちの健康チェック等ができませんので、必ず送信ください。

- ・幼児クラスのリュックに付けるキーホルダーは1つにしてください。
- ・先日の保護者会で説明いたしました、気管支拡張剤の保育園での使用を許可していきます。安全に使用していただくために園が示すルールを守って下さい。

→気管支拡張剤確認書、お薬の説明書の添付は必須で、手渡しをお願いします。

おねがい



- ・園の前は駐停車禁止です。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。また、駐車場利用は短時間でお願いします。
- ・暑い日や外遊び後はシャワーをしていきます。ロッカー内に体拭きタオルと着替えの補充をしていただくと共に持ち物に名前があるかの確認をお願いします。
- ・保護者会のアンケートをお願いしています。ご協力をお願いします。

5月の予定

- ・4月下旬滑り台の塗装（4・29～5・5まで使用できません）
- ・10日（水）いぶき・ひかり・だいちのみお弁当日
- ・13日（土）園庭のパーゴラの柱を補修します。
- ・15日（月）月例健診、武庫川女子大学 心理学科の学生3名が 毎週月曜日実習に来られます（6・19まで）
- ・22～26日（月～金）浜脇中学校トライやる4名 受け入れ
- ・27日（土）つぼみ・幼児の運動はっぴょう会
- ・29日（月）誕生会
- ・15日（月）30日（火）絵画
- ・11、18、25日（木）体操

6月の予定

- ・17日（土）卒園児対象 同園会

肌寒い日が長く続き、子どもが体調を崩しやすい気候でした。また、今年の黄砂は驚くほどの量で窓ガラスの汚れや窓・そして室内の棚なども汚してしまうほどでした。外に出られない時間もあり、子どもたちにとって心身ともに気を遣う毎日でした。そんな時期も終わり、園庭にも子どもたちの子元気な声に戻りました。今年の園庭遊びはWBCの影響で??野球が今も流行中、3月に卒園した子どもたちがいなくなってからは試合を楽しむまではいきませんが、個別でバッティングをしたり、キャッチボールしたりする姿が見られます。今まではひかり・だいちの野球チームだったのが今年はいぶきぐみまでもが楽しんでいます。「幼児さんになったからねー」と楽しむ子どもたち、手にはなぜか園長先生がガーデニングをするときに使っている「花柄の手袋」を付けて楽しんでいます。今年とはどんなチームになっていくのか楽しみです。

主幹保育教諭 F 先生

かえで保育園の大きなこいのぼりが、今年も気持ちよさそうに風の中で泳いでいます。園内では子どもたちが空を見上げ手を伸ばしていますが、卒園された保護者の方も、「あのこいのぼりが目印になって、今日もかえで保育園のみんな楽しく過ごしているかな、って思うんです。」と教えてくれました。少し遠くにいても、こいのぼりがかえで保育園の場所を知らせてくれているようです。実はこのこいのぼり、ご飯の部屋でお手伝いいただいている方が寄贈してくださったもので、こんなにも沢山の子どもたちや町中の方に見てもらえるとは、こいのぼりも驚いていることでしょう。

雨が降ったことで、少し濡れてしまったこいのぼりを1つ部屋で乾かしていました。登園した子どもたちは「あれ、どうしてこいのぼりさんお部屋にいるの？」何故だか分からない子どもたちは、「おうちのひとと離れてひとりぼっち。さみしいよね」一番小さなこいのぼりを自分たちと重ねていたのでしょうか、優しい気持ちにほっこりしました。大人にとっては5月に飾る季節の風物詩こいのぼりも、子どもたちにとってはだいすきな家族を思い出す身近な存在のようです。乳児期にたっぷり愛情を注いでもらい大きくなった子どもたちの心には、自然に誰かを思いやる気持ちが育っているのだと思ひます。空高くから子どもたちのことを見守ってくれているこいのぼりのように、ありのままの子ども姿を見つめながら発見を集めていきたいです。



主幹保育教諭 K 先生

4月の子どもたちのようす

ずりばいをしたり、高這いをしたり、お部屋の中をたくさん探索して楽しんでいる子どもたちですが、それぞれ好きな玩具が異なります。

ゾウの人形やベル、ガラガラやツノツノファミリーなどお気に入りの玩具と共に、ゆったり毎日すごしています。

クレヨンやペンスタンプを使ってお絵描きとシール遊びをしました。大きな模造紙にスタンプをしたり、好きな色のクレヨンでお絵描きしたりと大きく、思いっきり描くことを楽しみました。

シール遊びでは指先を使い、慎重にシールを剥がしながら貼りました。

新しくお友だちも加わり、楽しく過ごしています。幼児クラスのお集まりに参加してみたり、園庭で一緒に遊んでもらったりと、おにいさん、おねえさんに優しく見守ってもらっています。

お世話されることで安心し、保育者やお友だちに見守られながら5月も絵の具遊びやとうもろこしの栽培など経験しながら日々過ごしていきたいです。

初めての園庭では、砂や芝生の感覚を体験しました。不思議そうにしつつも、もっともっと見て見たい、触ってみたい…と保育者の膝から離れ冒険が始まります。

身の回りのこと

- ・階段の上り下りではしっかり手すりを持って、1段ずつあがります。
- ・朝の用意（汚れ物の袋を入れる）をしたりと、「自分でやる」という気持ちが芽生えています。おやつ後に、着替えをかばんに入れる帰りの用意もできるようになりました。保育者も見守りながら点検していきます。

体操

初めての体操服を着て友だちや保育者と「一緒だね」と嬉しそうにする関わりが見られました。体操の時間では、「みんなで散歩に行こう！」と平均台でバランスをとりながら歩いたり跳び箱をジャンプしたりと、サーキットあそびを楽しみました。

絵本

絵本コーナーで、見たい絵本を自分の手にとって見れることにうれしいようです。ソファに座って「よんでもいいですか」「いいですよ」と友だちと絵本を読む前の保育者の真似をしている姿もみられます。

倒れないようにゆっくりだよ



積み木とカプラの本を見て、カプラでタワーを作ってみることにしました。3人で始まったタワー作りですが、他の友だちも「やりたい」と複数の友だちが協力し、顔の高さまで積み上げることができました。気づくと1つの箱の中身はカプラが空っぽになっていました。次の日に、タワーは倒れてしまいましたが、「つぎは船をつくりたい」と子どもたちの挑戦は続きます。



幼児になり、絵画あそびが始まったいぶき組。太田先生を目の前にして、「何が始まるんだろう」と目を輝かせ、わくわくしている表情の子どもたちでした。これから絵画あそびを通して、子どもたちがどのように自分を表現してくれるのか楽しみです。



なに描こうかな



～せいくらべ～

だいち組でクラスの歌として『せいくらべ』を歌っています。歌詞に出てくる「羽織」「ちまき」の言葉をどういう意味？と子どもたちと確認しながら歌っています。歌を歌いながら「せいくらべしよう」と子ども同士で背中を付けて見合います。「柱に書いて」と歌詞に出てくるように扉に印をすると「あれ、こんなに高いの!？」と自分の背の高さに驚いたり、比べたり長さや高さへの興味にも繋がっています。



園に咲いている花を見て「これは何のお花かな？」と疑問に持ち、図鑑を開いて調べています。疑問が興味へと繋がり、色水や押し花を使った製作も盛り上がっています。今月の歌「はるがきた」に出てくる歌詞の「野」についてもどんなお花が咲いてるんだろう?」「草がいっぱいあるのかな」と子どもたちと景色を想像しながら歌っています。



～お世話～

はじまったばかりの時は、張り切りすぎていたペアのいぶき組のお世話。子ども達も少しずつ気持ちが落ち着き、後半に入っていぶき組のペアのお世話に向かっています。上手い出来ないことに悩んだり、話合ったりする中で、声の掛け方や傍でそっと見守り工夫しながら関わろうとする子もいます。頼られることが自信になったり、愛おしいと人との関わりからあたたかさ、ほっこりした気持ちが感じられるよう遊びの中でも見守っていきたいです。





自分で出来る事がどんどん増えてきています。少し前までは「前に倒れるのが怖い」と言って前回りに抵抗があった子も、今では「先生見てね～」と楽しそうに前回りをしています。

けん玉、積み木、パズルなど…たくさんの「できた」を経験できるよう、挑戦しようと自ら取り組む姿を見守り、自信をもって過ごせるよう関わっていきます。

これからもどんな「みてみて」が聞こえるのか楽しみです。



園庭では、野球がとても盛りあがっています。だいちとひかりで協力して、「よくうてるバット」や「よくとぶボール」はどうしたらできるかなと相談しながら作っています。出来上がると、「3回うったらこうたいしょ」と自分たちでルールを考えていました。

「しあいはじまるよ」の声で集まる子どもたち。

「ヒット」「ホームラン」「セーフ」今日も元気な声が園庭に響いています。



お台所から



先月からは、春野菜が美味しい季節。給食には「春キャベツの炒め物、新じゃがを使った「肉じゃが」、「新たまねぎ」を蒸し焼きにし、照り焼きに添えました。

初めは、大きいたまねぎに子どもたちは苦手意識も強く、興味をもってもらえませんでした。しかし、「少しだけ食べてみる？」と声掛けし食べてみるととっても甘くて想像の味と違うたまねぎに驚いている様子で、「甘くておいしい！」との声が聞こえてきました。



最近、子どもたちから「野菜の切れ端ください！」と声を掛けられることが多く「何に使うの？」と尋ねると、「幼虫さんやダンゴムシにあげるの」とお世話をしている様子。

そこで野菜の切れ端も違った形でも興味をもってもらいたいと思い、野菜の再生栽培を行いました。

再生栽培はじゃがいも、にんじん、豆苗などがあります。

まだまだ芽がでるまで時間はかかりそうですが、「どんな風に育つのかな?」、「野菜の切れ端なのにまた食べれるの?」と興味をもってくれてとっても嬉しかったです。普段は捨てる部分の野菜を水栽培でどのように芽がでるのかとっても楽しみです。

毎日、子ども達とお水をかえて、成長を見守っていきたいと思います。



～5月の献立・予定している食育活動～

新年度からあっという間に1年がたちました。

新しい環境にも慣れ、最近では「おかわりー！」と元気いっぱいの笑顔で声をかけてくれるお友達も多くなってきてとっても嬉しいです。

これから、どんどん気温が上がり季節の変わり目になるため体調管理には十分注意して元気いっぱい過ごしてほしいと思います。

5月は、桜の葉で包んだ「さくらもち」が登場します。

また「たけのこ」「さやえんどう」など旬の食べ物も取り入れ子どもたちに触れる機会をたくさん作っていきたいと思います。お楽しみに！

先生たちのメッセージ

私は、保育の中で毎日色々な歌を歌っています。めばえぐみでは、わらべ歌や優しいメロディーの歌を歌っています。歌うだけではなく、子どもたち一人ひとりに触れあったり、目を合わせる事によって子どもが安心して気持ちが落ち着いたり、心地良いと感じられるように心掛けています。今の季節は、おはながわらったやこいのぼり、ちいちいこっこというわらべ歌を歌っています。私が歌い始めるとじっと目を合わせ体を揺らしてリズムを取る子どももいます。今は高校生と中学生になった子どもにも、育児の中でたくさんの歌を歌って育てました。成長した今では2人とも歌が大好きです。ぜひ、お子さんと歌を歌って触れ合ってみてください。子どもの楽しそうな笑顔に心癒されますよ。

S先生

私の愛犬が16歳を迎え、「ご長寿犬」として動物病院で表彰の盾をいただきました。小学生の頃からご飯の時間も寝る時も一緒に過ごし、今でも出かける時や帰宅した時は玄関までお出迎えしてくれます。16年ともに過ごし、言葉は通じなくても心は繋がっているような気がします。これからも1日でも長く一緒にいてほしいと願います。保育園では、カエルやダンゴムシなど、生き物に興味をもつ子どもが増えています。自らみつけたり子どもの発見から園での飼育が始まります。生き物を育てることの大変さやお世話をする為にどうすればいいのかなど、子どもたちと様々なことを考えたり経験しながら、命の大切さがわかればと思います。

M先生

保護者からのエピソード

お世話やお手伝いが大好きな息子とひかり組になって、自分も他のクラスのお友達のお世話ができることに、喜びを感じているようです。保育園で歌った「まかせてねマーチ」を一緒に歌ったり、頼み事を直ぐすると、（気分が良い時は）「まかせんしゃい！」とテキパキ動いてくれます。保育園でも、先生のお手伝いをすることがあると聞き、嬉しくなりました。

ひかり組 かえさん

家では末っ子甘えん坊な娘が、保育園ではとってもお姉さんをしていると先生から聞いてびっくり!!しっかり保育園で頑張っているんだなあ〜としみじみ。母はそのお姉さん姿を拝んでみたいものです(笑)今年1年もお友だちと楽しく過ごしてね。

ひかり組 まりなさん

昨年度、だいち組だったお兄ちゃんが、4月から保育園にいないことに、初めは戸惑っていましたが、今では、幼児クラスにはこんな人があって…ごはんはランチルームで食べるんやで…お昼寝はね…とたくさんの幼児さん情報を教えてくれています。つぼみさんのママがいいでちゅ…と4月になりたての頃言っていたのも、「オレお世話すんでー」と少しお兄さん風を吹かすようになっていきます笑

いぶき組 まどかさん

お迎えにいくと、先生のひざに座りながら満面の笑みで笑いあっている姿を見ると私もうれしくなります。いつもありがとうございます。

ふたば組 まなみさん

最近の娘のマイブームはズボンのポケットに園庭で拾った小さな宝物(貝殻、キレイな石、お花)を入れて帰ってくることです。家に帰るとニコニコ笑顔で見せてくれます。いつまでもかわいいなと思う反面、回収を忘れて洗濯した時は残念な感じになってしまいます。みなさんも気を付けてください。

いぶき組 りょうすけさん

だいちさんになる事を指折り数える姉と赤ちゃんのまま(ふたばさん)でいい!と言う弟。対象的な2人ですが、お迎えに行くと毎日、たくさん遊んだらろうなとわかる姿で出迎えてくれます。今年度も2人にとってすてきなかえでライフを過ごしてほしいです。

つぼみ、だいち組 よしえさん

5月のあそびへの思い

めばえ

慣らし保育のご協力もあり新しい環境への戸惑い・泣きから、笑い・楽しみに変化し、少しずつ保育園での生活にも慣れてきました。保育者の声掛けや関わりで笑顔もたくさん見られるようになり嬉しく思っています。五月からは新しいお友だちも交えて嬉しい楽しい「初めて」をたくさん経験していきます。子どもたちにとって安心して過ごせる場所になっていけるよう、ゆったりとした1対1での関わりを大切にしていきたいです。

ふたば

新しいお部屋に移り、新しく6人のお友達を迎えて15人での生活が始まってから、1ヶ月が経ちました。朝の集いで「〇〇ちゃん」と名前を呼ぶと、「はい!」と返事をしたり、手をあげて教えてくれることで、保育者も笑顔になれます。園庭に出ると、テラスから幼児クラスのお友だちの楽しそうな歌声が聴こえてきます。素敵な歌声につられながら、テラスを上がり歌声を聴きながら、手拍子をしたりととても楽しそうな様子で参加しています。年齢の異なるお友だちと関わるのが好きなようで、手を繋いで園庭中を散歩したり、お着替えを手伝ってもらったりとお世話される喜びを感じながら過ごしています。これからも遊びや生活を通して、子どもたちの心が輝く瞬間を共に楽しんでいきたいです。

つぼみ

つぼみ組になって1ヶ月が経ちました。すっかりつぼみ組の部屋にも慣れ、好きな遊びを見つけて楽しく過ごしています。ままごとコーナーでは、昼食と同じようにお盆に食べ物・コップやスプーンのセットを乗せて、机に置いています。「一緒に食べよう」「ここ空いているよ」とおもてなしをし、いつの間にかどんどんお客さんが増え、みんなと遊ぶことに、嬉しそうです。その中でも、一人ひとりに違った思いもあるので、自分の思いが上手く伝わらずぶつかってしまう場面もみられます。子ども一人ひとりの気持ちや思いを理解し代弁して、気持ちよく遊ぶことで、人と関わる心地良さを感じられるようにしていきたいです。

いぶき

幼児クラスにも少しずつ慣れてきました。自分のロッカーの場所を覚えて、自分の力で着替えたり、登降園の時は鞆の準備をしたり、「もうできたよ」と少し誇らしげな子どもたちです。幼児の広い部屋を見渡すと積み木やおままごと、アートコーナー、カードゲームなど新しい環境に目を輝かせています。お兄さんやお姉さんが遊ぶ姿をよく観察して、三つ編みや積み木を高く積むなど挑戦する姿が見られます。子どもたちのなんでも挑戦する気持ちを尊重しながら、様々な経験ができるように考えていきます。また、少しずつだいち組のお兄さん、お姉さんとの信頼関係も築いています。そばにだいち組のペアのお友達がいることが嬉しいようで、お互いに姿を探し合う様子も見られます。子ども同士の間わりも大切に、見守っていききたいと思います。

ひかり

新しい友だちや年下の友だちが幼児クラスの仲間となったことをうれしい気持ちでいっぱいの子もたち。困っている友だちを見つけると「一緒に行こう」「こっちだよ」と優しく声を掛けています。生活の中で、ロッカーの整理や身だしなみの確認などを自分でしようとしており、できた時には少し嬉しそうです。また、バス遠足ではペアのだいち組と一緒に荷物を持って歩いたり、顔を見合わせながら美味しいおにぎりを食べたり、異年齢での関わりも少しずつ深まってきています。周りにいる友だちの存在に気づき、一緒に過ごす心地良さを感じてほしいです。時には気持ちがぶつかり合うこともありますが、言葉で気持ちを伝えることを大切に過ごしていきます。

だいち

だいち組としての新しい生活がはじまりまり、やってみたいこと、調べたいこと、行ってみたいことのそれぞれが実現するよう子どもたちとの計画も進んでいます。先日は、たくさんのお花が見たいの気持ちからバス遠足の行き先が決まりました。話し合う時の子どもたちは目を輝かせたり、不思議そうに考えたり、それぞれの気持ちが表情として表れています。大人の予想よりも子どもならではの心が弾むようなひらめき、視点や考えに気づかされる日々です。経験したことがこれからの遊びや人と関わる力となれるよう、自分で考える、自分の力でやってみることを大切にしていきたいです。

はまかせ

幼児クラスでは、異年齢での関わりがもてるよう「はま」「かせ」グループに分かれて活動をしています。朝の集いには、だいちぐみがペアのいぶきぐみに声をかけ一緒に向かいます。声をかけてもらうと、ニコニコと一緒にいく子、「まだあそびたい」とあそびに夢中になる子と様々です。自分の気持ちを素直に言葉や表情で伝えるいぶきの子もたち。一緒にきてくれないと悩むだいちの子もたち。どんな言葉をかけてあげたらきてくれるかな?と考えていると「なにかたのしいことがまっているよっていつかあげたらきてくれるんじゃない?」とひらめき、声をかけにきました。すると、あそびに夢中になっていた手がとまり一緒に手を繋いで向かうことができました。相手を思いやる気持ちが届いた瞬間でした。このひとつひとつの経験を大切に、異年齢ならではの関わりを深めて楽しんでいきたいと思います。